

～志木市の無限の可能性を切り拓く～ 令和7年度予算

問合せ／

予算に関すること：財政課 ☎048(473)1115

施策に関すること：政策推進課 ☎048(473)1114

令和7年度施政方針

令和7年志木市議会3月定例会において、令和7年度当初予算案を提出し、議員の皆さまの慎重な審議をいただき、無事に可決成立となりました。

近年は、超高齢化・少子化の進展や物価高騰の影響など、厳しい社会情勢の中で、急速なデジタル技術の進展など、目まぐるしい変化を遂げる時代となっておりますが、複雑かつ対処が困難な課題についても、解決を先送りすることなく現状を見直し、リ・デザインを図ることで、志木市が時代とともに飛躍する絶好の機会でもあると捉えています。

多くの課題はあれど、それを解決した先にある市民の皆さまの笑顔、幸せを目指し、たゆまぬ努力を続ける「万里一空」の精神で、志木市将来ビジョンで掲げた「市民力でつくる 未来へ続くふるさと 志木市」の実現を見据え、4つの戦略プロジェクトを軸として、10年間の総仕上げに全力を尽くしてまいります。

1.市民の健康づくりプロジェクト

高齢者が日常生活の中で抱える困りごとを、ご近所の高齢者同士の助け合いによって解決する助け合いボランティア活動を推進するため、ボランティアと利用者のマッチングを行う「しきボラねっと」の創設や記念すべき第10回の開催を迎える「ノルディックウォーキング・ポールウォーキング全国大会」をより一層盛り上げることで、市民の皆さまの生きがいづくりや健康づくりを応援します。

2.子育て世代定住プロジェクト

多胎児または未就学児が2人以上いる妊産婦や未熟児養育医療の対象児のいる産婦の方が、外出時にタクシーを利用した場合に料金の一部を助成する「ママサポあんしんタクシー事業」の実施、「次代を担うたくましい志木っ子」を育成する小中一貫教育の導入に加え、不登校生徒に対する支援として県内で初の取り組みとなる、不登校対策支援員を配置した校内支援ルームの市内全中学校への設置など、子育て世代が定住し、安心して子どもを産み育てられる環境の充実に努めます。

3.暮らしやすさ向上プロジェクト

水害時における新たな情報発信として、避難情報を電話により直接伝えることができる災害時自動架電システムの導入や国の臨時交付金を活用し、水道の基本料金の減免を6か月間実施するなど、災害や犯罪から市民の生命・財産を守り抜くとともに、市民の皆さまにとって暮らしやすいまちづくりを目指します。

4.魅力発信プロジェクト

コミュニティのさらなる醸成と郷土・志木の魅力の再発見を目的に、本市の新たな目玉となるイベント「シキリラ」の開催や観光協会主催の志木市民花火大会の開催に向けた連携・支援など、本市の地域資源を活用し、これまで以上にぎわいを創出するとともに、その魅力を全国に発信します。

5.市役所改革

現在、250を超える手続きが可能となった電子申請システムに、オンライン決済機能を追加し、手数料などの支払いが伴う手続きについても電子申請を可能にするなど、「市役所に行かなくていい」仕組みづくりをさらに推進するとともに、事務の効率化を図ることにより、市民の皆さまの利便性向上を目指した行政改革を進めます。

以上、市政運営に関する基本的な考え方について、主要施策の一端を述べさせていただきました。

令和7年度はこれまでの10年間の集大成の年であるとともに、次の10年間の指針を定める要の年となります。引き続き、まちづくりの土台を盤石にしていくことはもちろんのこと、時代に合わせて千変万化に対応する柔軟な発想をもって、市民7万6千人の笑顔と幸せに向けて、心迷わず全身全霊で市政運営に取り組んでまいります。

市民の健康づくりプロジェクト

「しきボラねっと」の創設 ————— 596万円

助け合いボランティア活動を推進するため、活動に対してボランティアスタンプを付与し、商品券と交換することができる仕組みを新たに設けることで、地域の助け合いや見守りをさらに推進するとともに、ボランティア活動者自身の介護予防や生きがいづくりにつなげます。

秋ヶ瀬スポーツセンター等 再整備事業の推進 ————— 1億5,300万円

秋ヶ瀬スポーツセンターと武道館を複合化し、新たに柔道・剣道などでもできる機能も設置するほか、会議室や集会スペースを確保するなど、宗岡地区のコミュニティ拠点ともなる施設の整備に向け、令和7年度は解体工事及び建設工事に着手します。



4つの戦略 プロジェクト

水道基本料金減免事業の実施 (令和6年度繰越事業) ————— 1億100万円

エネルギーや食料品価格などの物価高騰の影響を受ける生活者や事業者を支援するため、水道基本料金を6か月間50%減免します。

災害時自動架電システムの導入 ————— 708万円

水害発生時において、誰一人取り残さない防災体制を構築するため、デジタル機器などで自ら避難情報を取得することが困難な高齢者などを対象に、自宅の電話や携帯電話の番号を登録することで、避難情報を得ることができる自動架電システムを導入します。



暮らしやすさ向上プロジェクト

子育て世代定住プロジェクト

中学校校内支援ルームの設置 ————— 1,156万円

一人ひとりに合った学びの場を提供するため、県内でも初の取り組みとなる不登校対策支援員を配置した校内支援ルームを市内全中学校に設置することで、決して誰一人取り残さない教育の実現に向けた支援体制を整えます。

志木っ子学校給食応援事業の実施 (令和6年度繰越事業) ————— 5,863万円

高騰する食材料費の値上げ分についての補助を実施するとともに、小・中学校に通う子どもを3人以上養育している世帯に対し、3人目以降の給食費を無償化します。



後世に残る志木市の目玉イベント「シキリラ」の開催 — 1,530万円

地域コミュニティのさらなる醸成と、郷土・志木の魅力再発見を目的として、市民と市職員で構成する実行委員会による、本市の新たな光と音楽の目玉イベント「シキリラ」を10月25日(土)に開催することで、後世に残る本市の新たなにぎわいの創出につなげます。

郷土資料館及び埋蔵文化財保管センターの 再整備 ————— 2億7,634万円

郷土資料館と埋蔵文化財保管センターを複合化し、新たな展示スペースや体験スペースを設けるなど、郷土資料を総合的に保存活用するための拠点となる施設の整備に向け、令和7年度は建設工事に着手します。

魅力発信プロジェクト

5つの視点で見る主な事業と予算額



◀令和7年度
志木市予算及び
事業概要説明

物価高騰などの影響による施設維持管理費など経常経費の増加に加え、市内公共施設の更新などに伴う公債費負担の増加による厳しい財政環境での予算編成にあたっては、限られた財源の中においても市民のニーズを的確に捉えた質の高い行政サービスは安定的に提供しつつ、不登校対策支援や高齢者助け合い事業の実施、秋ヶ瀬スポーツセンター等再整備工事の着手など、時代の変化により顕在化する行政課題への対応を積極的に展開することからも、堅実に積み立ててきた財政調整基金を、およそ24億1,000万円取り崩すことによって、令和7年度当初予算案を調えました。

令和7年度に重点的に取り組む事業や新たな事業などについて、その内容や予算額の一部を紹介します。

1 市民力が生きるまちづくり

朝のこどもの居場所づくり モデル事業の実施 200万円

子育てと仕事の両立を支援するため、小学校始業前の子どもの居場所づくりについて、埼玉県が実施する「朝のこどもの居場所づくりモデル事業」補助金を活用し、志木小学校をモデル校として開始します。

義務教育学校設置に向けた 実施設計 7,000万円

令和9年度の開校を見据え、志木第二中学校区における義務教育学校の設置に向けた実施設計に着手します。

中学校水泳授業委託の導入 570万円

市内全小学校で実施している民間スポーツクラブでの水泳授業について、市内全中学校の1年生まで拡充し、小・中学校で一貫性・継続性のある指導につなげることで、児童・生徒のさらなる泳力向上を目指します。

2 市民を支える快適なまちづくり

重症心身障がい児等在宅レス パイト事業の実施 252万円

重症心身障がい児などの看護や介護を行う家族の心身の負担軽減を目的に自宅に看護師などを派遣し、医療的ケアの提供や介助、見守りなどを行います。

働く世代の健康づくり事業の 推進 79万円

働く世代の健康づくりを目的としたアウトドアヨガ事業について、近年の猛暑を踏まえ、夏季期間は「ナイトヨガ」を実施するとともに、日中の教室については、若い世代の方にこれまで以上に参加いただけるよう、4歳未満の子ども保育ができる体制を整えます。

常設アーバンスポーツエリア の整備 122万円

いろは親水公園左岸に試行的に設置したアーバンスポーツエリアについて、若い世代を中心に多くの方々に利用されていることから、イベント開催日やいろは親水公園ウォーターパーク開催期間などを除く、9時から17時まで、常設エリアとして開放します。

3 活力と潤いのあるまちづくり

志木市民花火大会の支援 1,500 万円

コロナ禍を経て10年ぶりに開催される志木市民花火大会を支援し、本市の魅力を発信するとともに、市民のふるさと意識の高揚につなげます。

かすみ児童公園の改修 6,000 万円

誰もが快適に利用できる公園づくりを進めるため、老朽化により現在は利用を休止している、かすみ児童公園の水遊び場について、親子で楽しみ、憩うことができる新たな施設として、令和8年度のリニューアルオープンに向け、改修工事を実施します。

まちづくり会社との連携による 中心市街地活性化の推進 3,328 万円

新たなチャレンジショップの開店や中心市街地新規出店支援センターの運営、創業を考える人を対象としたセミナーの開催、中心市街地の回遊促進を目的とした志木街バルの開催など、「志木街づくり株式会社」との連携により、中心市街地の活性化に向けた取り組みを推進します。

4 未来を支えるまちづくり

新複合施設建設事業の推進 3,686 万円

発注方式などの見直し検討を行っている新複合施設建設について、ECI方式による発注が最も実現性が高く、かつスケジュール短縮にもつながると判断したことから、今後、ECI方式による発注に向け、事業者を選定するための条件整理や公募要項の作成などの準備を進め、令和9年度の工事着手を目指します。

災害用トイレトラック及び 簡易ベッドの整備(令和6年度 繰越事業) 4,686 万円

災害時における避難者の心身のストレス軽減を図るため、新たに1,300台の簡易ベッドを整備するとともにどこへでも移動することができ、避難所へ到着後、すぐに使用することができる災害用トイレトラックを導入します。

志木駅東口ペDESTリアン デッキ改修基本設計の実施 4,052 万円

老朽化した施設の改修にあわせ、中心市街地のさらなる活性化への大きな起爆剤とすべく、令和6年度に実施したワークショップでの意見を反映した、新たな形での施設整備に向けた基本設計を実施します。

5 健全でわかりやすい行政運営

電子申請システムの機能拡充 143 万円

「市役所に行かなくていい」仕組みづくりをさらに推進するため、電子申請システムにオンライン決済機能を追加し、手数料などの支払いが伴う手続きの電子申請を可能にします。

広報しき全戸配布の実施 229 万円

町内会に配布協力をいただいている「広報しき」について、会員の高齢化や共働き世帯の増加など、配布に負担を感じているという声もあることから、令和8年1月より、配布事務を民間事業者へ委託し、全戸に直接配布する方式に変更します。

朝霞地区4市共用火葬場の 設置検討 2,500 万円

志木・朝霞・和光・新座市で構成する協議会において検討を進めている4市共用火葬場の設置について、令和6年度に策定した朝霞地区4市共用火葬場設置基本構想に基づき、基本計画を策定するとともに、民間事業者のノウハウを活用した施設の整備や運用についての調査を実施します。

令和7年度予算

まちづくりサポート基金活用事業

市では、「志木市まちづくりサポート基金」として、ふるさと応援資金をはじめとした全国から寄せられた寄附金を積み立てています。令和7年度においても基金を財源とした事業を実施し、ご寄附をいただいた皆さまからの「志木市のまちづくりを応援したい」という想いをかたちにします。

志木市におまかせコース 313 万円

災害時における避難者のストレス軽減のため、簡易トイレを追加購入するとともに、各避難所における生活環境の向上を目的に引き続き発電発電機を追加配備することで防災備蓄品の充実を図ります。また、ウォーキングや通勤、通学、イベント時の利便性の向上を図るため、市庁舎グランドテラス周辺に時計塔を設置します。

環境保全・地域経済の充実コース 69 万円

広報大使であるカパルの遠征などに係る活動費の一部を補助することに加え、いろは親水公園エリア内における鯉のぼり掲揚事業や観光ガイドブックを作成することで、志木市の魅力を広く発信し、にぎわいの創出につなげます。

子育て支援・福祉環境の充実コース 408 万円

市役所窓口における会話サポートのための軟骨伝導イヤホンを購入するほか、子育て支援センターや保育園で活用する玩具などの購入、いろは健康ポイント事業の専用端末を追加整備するなど、子育て支援・福祉環境の充実を図ります。

都市基盤の充実コース 566 万円

円滑な道路交通を確保するため、カーブミラーや道路標示などを適切に整備するとともに、劣化が著しい公園遊具の更新をすることで、安全で安心に利用できる都市環境を整備します。

教育環境の充実コース 872 万円

市内小・中学校の図書資料を充実させるとともに、文化体験道場事業用の体験道具を整備するほか、秋ヶ瀬総合運動場における簡易ナイター実証事業や常設アーバンスポーツエリアを整備するなど、教育・スポーツ環境の充実を図ります。

事業判定会の結果を予算へ反映

市民感覚を取り入れた事業の改善などを行うため、有識者と市民で構成する判定員が、事業の必要性を判定する事業判定会を実施しました。

今回は、4つの事業について判定が行われ、その結果を令和7年度予算へ反映しました。



◀市長へ提出した事業判定結果報告書など、詳しくは市ホームページをご覧ください。

■ 市民助け合いボランティア活動事業 (通称:しきボラねっと)

判定結果／一部見直し

令和7年度実施内容／関係機関と連携を図りながら事業を実施する

■ 妊産婦タクシー利用補助事業

判定結果／抜本的に見直し

令和7年度実施内容／補助対象・金額などを見直したうえで事業を実施する

※事業名称を「ママサポあんしんタクシー事業」に変更

■ 中心市街地活性化基本計画推進事業(志木市中心市街地活性化ウォーカブル促進コーディネート業務)

判定結果／抜本的に見直し

令和7年度実施内容／事業開始を見送り、既存の補助金などを活用した支援及び事業の再検討を行う

■ 水害時自動架電システムの導入

判定結果／一部見直し

令和7年度実施内容／対象者を見直したうえで事業を実施する

※事業名称を「災害時自動架電システム」に変更

一般会計

324億600万円

過去最大

対前年度比 +19億5,200万円(6.4%増)

予算総額(一般・特別会計) 517億8,994万円 対前年度比 +24億1,482万円(4.9%増)

歳入

歳入の大きな割合を占める市民税や固定資産税をはじめとする市税の予算額は116億2,421万円で、令和6年度に比べ、8億2,261万円の増加を見込んでいます。

主な増減の内容

市民税

個人市民税における定額減税の影響解消や最低賃金の引上げをはじめとする賃金上昇による増、法人市民税における企業収益改善に伴い増加の見込み

(前年度比:7億9,260万円増)

固定資産税など

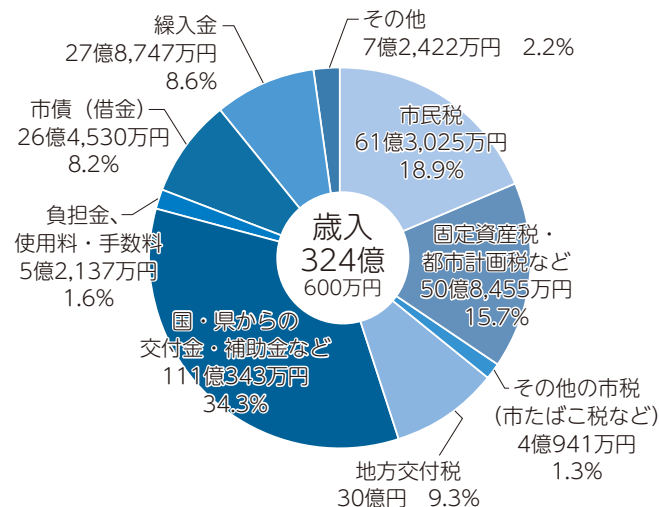
家屋の新增築の増などによる増加の見込み

(前年度比:3,456万円増)

市債

新複合施設建設事業債や臨時財政対策債の減少

(前年度比:8億7,130万円減)



歳出は前年度と比較し、幼稚園や学校教育、社会教育のための教育費、住民福祉推進のための民生費、道路や公園などを管理・整備するための土木費が増加しています。

歳出

主な増加の内容

教育費

秋ヶ瀬スポーツセンター等再整備事業や宗岡中学校体育館大規模改修工事などによる増加

(前年度比:19億3,272万円増)

民生費

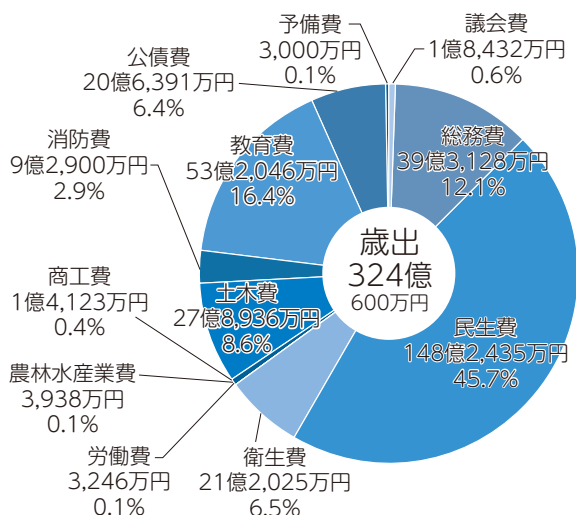
児童手当や民間保育園の運営助成等に係る経費などによる増加

(前年度比:10億4,677万円増)

土木費

館大排水路改修工事や富士見橋補修工事などによる増加

(前年度比:3億7,490万円増)



特別会計・企業会計

特別会計や企業会計は、市が特定の事業を行う場合に一般会計と区別して設置し、その特定の歳入をもって特定の歳出に充てるものです。

特別会計

会計名称	予算額	対前年度比	増減率
国民健康保険	64億2,802万円	2億1,208万円増	3.4%
志木駅東口地下駐車場事業	4,052万円	47万円減	△1.1%
介護保険	59億9,388万円	2億3,767万円増	4.1%
後期高齢者医療	13億7,720万円	6,466万円増	4.9%

企業会計

会計名称	予算額	対前年度比	増減率
水道事業	23億4,453万円	1,923万円増	0.8%
下水道事業	31億9,980万円	7,035万円減	△2.2%

※表示けた数未満を四捨五入しているため、合計があわない箇所があります。